

WEKプロジェクトニュース

Vol. 2

2018年1月発行

発行者 特定非営利活動法人
Women's Empowerment
anazawa ウィメンズ・エンパワーメント金沢プロジェクト



E-mail wek7582@spice.ocn.ne.jp

URL <https://wek-project.jimdo.com/>

私たちは、男女が互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、その能力を発揮するとともに、安全で安心な環境でいきいきと生活することができるよう、すべての人に対して、女性や子どもの人権の擁護や福祉の増進に関する事業を行い、男女共同参画社会の形成と子どもの健全育成の推進に寄与することを目的として活動を続けています。

私たちは、地域の中で暴力被害女性たちと子どもへの支援をすることが、個人の尊厳と自立を保持し、暴力と差別のない社会につながると考え、支援のネットワークを広げていくことに貢献します。

新年あけましておめでとうございます。

NPO 法人 WEK プロジェクト代表 坂井 美津江

昨年4月に法人として活動を再スタートして9ヶ月が経ちました。

この間、沢山の方のご支援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。特に「ドコモ市民活動団体助成金」と「いしかわ結婚・子育て支援財団助成事業」の対象団体として選考していただいたことは、私どもの大きな励みとなり心から感謝しております。

5月から毎月第1土曜日に開催しております「マンスリーセミナー」は、参加された方々から「興味のあるテーマのセミナーはまた参加したい」という感想を多くいただき、今後も女性をあらゆる面でエンパワーメントできるようなセミナーを開催していきたいと考えております。

また、法人化前から金沢市委託事業として実施しておりました「こころのケア講座」と「ピアサポートグループ」は、市の事業終了に伴い、WEK プロジェクトの自主事業として地道に情報提供を続けることで、傷つき経験のある方（現在進行形の方も）の集う場となりつつあります。

一方、法人化に伴い、何とか実現したいと思っておりました「面会交流支援事業」は、理事の西村依子弁護士を始め、当団体に会員登録して下さった弁護士の先生方のお力をお借りし、時間をかけて「面会交流支援利用規約」等を整備し、9月から事業をスタートすることができました。DV 被害女性は別居や離婚をして、子どもたちを DV 加害者である父親と面会交流させることに、精神的な苦痛を強く感じています。女性相談支援室長時代に、自分では支援できない歯がゆさを感じたことが何度もあり、ようやく事業化を実現することができたことは、本当に良かったと思っております。

今後は、必要な方に必要な情報が確実に届くような情報発信が、さらに重要となって行くと身の引き締まる思いであります。

今年も、当事者の思いに寄り添い、伴走者として走る続けて参りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



2017年度 ドコモ市民活動団体助成事業(子どもの健全育成を支援する活動)
DVなどの暴力被害が児童が自分らしく生活できるよう地域で行う支援
～ 暴力被害が女性と子どものための居場所と地域ネットワークづくり～

平成29年9月19日ドコモ北陸支社企画総務部長から、NPO 法人モバイル・コミュニケーション・ファンド「ドコモ市民活動団体助成事業」助成金贈呈書の交付を受けました。



9月20日の北陸中日新聞朝刊に掲載されました。

◆◆◆ 対象事業の概要 ◆◆◆

◇ 地域で孤立しがちな暴力被害母子が、気軽に訪れることのできる母子おしゃべりサロンの他、母子クッキングや「私は大事な存在」と実感できるような母子参加型のワークショップを開催し、参加者相互の交流の機会を提供します。

- ◇ メールや電話等の相談対応や面会交流支援事業を実施し、シングルマザーが抱える悩みを一緒に考え、共に歩んでいきます。
- ◇ HP やメルマガ、SNS などを利用して各種情報発信を行い、地域における暴力被害経験のある母子の繋がりや支援のネットワークを構築していきます。



◆ 2017年度ドコモ市民活動団体助成事業 今後の予定
地域や家庭での暴力防止講座 ～びーらぶプログラム体験&親子でランチ～

びーらぶプログラムは、新たな価値観を学び、家庭や地域の中で自分も相手も尊重し合う関係を築いていくための心理教育プログラムです。この講座は、全ての母親と子どもたちに向けて伝えたい内容になっており、母親向けと子ども向けのプログラムを体験していただけます。

支援者の方、日頃から子どもと関わっている方など、興味のあるテーマ1回だけでも毎回でもご参加いただけます。また、講座終了後は『親子で簡単クッキング&ランチ』を開催しますので、シングルマザーや別居中のお母さんはお子様と一緒にご参加ください。

【時間】 10:00～13:30

【場所】 金沢市教育プラザ富樫

【1月27日(土)】

【3月25日(日)】

母親プログラム:対等なコミュニケーション

母親プログラム:対等なコミュニケーション

子どもプログラム:怒りと暴力

子どもプログラム:いろんな気持ち

ランチ:飾り巻きずし

ランチ:パンケーキ

【2月25日(日)】

母親プログラム:対等なコミュニケーション

子どもプログラム:いじめ

ランチ:簡単ピザ&卵トースト



活動報告

(公・財)いしかわ結婚・子育て支援財団助成事業
ゴスペルで楽しく～ シングルマザーと子どもたちの CHRISTMAS ～

平成29年12月2日(土)11:30から、石川県女性センターでシングルマザーと子どもたちのクリスマスイベントを開催しました。

私たちは、傷つき体験をしたママと子どもたちの心の回復に繋がる X'mas イベントにしたいと、2ヶ月前からみんなで話し合い、アートワークとしてのカップケーキデコレーションと、VOX OF JOY の中田理恵さんをお願いしてゴスペルのワークショップを企画しました。

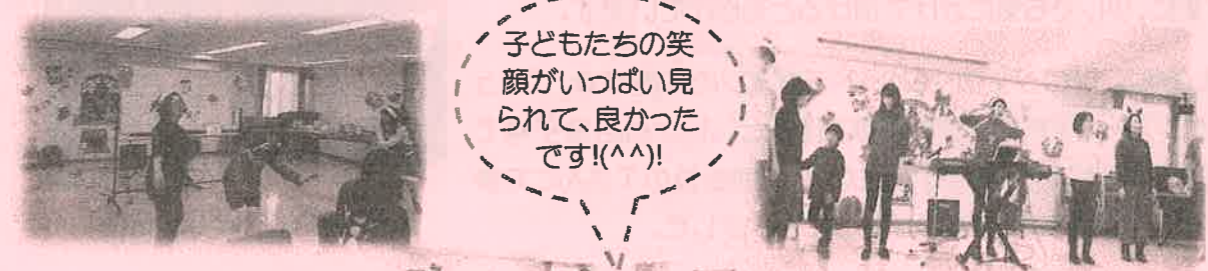
そして兄弟ケンカをテーマに、暴力を選択しない怒りの感情表現について、パペットショーで子どもたちに伝えることにしました。

当日は朝から、会員みんなで飾り付けをして、参加者と一緒にじゃんけんゲームをしたり、参加者の皆さんと一緒に輪になってゴスペルを歌ったり、ステップを踏んだり...

ご参加くださった皆さんから、私たちがパワーを頂きました。

◆ 内容

- 第1部 11:30～13:00
親子で簡単ケーキづくり
ランチパーティー
- 第2部 13:30～15:30
ワークショップ ゴスペルで楽しく!
パペットショー&ゲーム
おやつタイム



12月3日の北陸中日新聞朝刊に掲載されました。

11月、児童虐待防止月間です！

石川県児童虐待防止オレンジリボン街頭キャンペーンに参加しました♡

11月3日(日)石川県の児童虐待防止オレンジリボン街頭キャンペーンに参加しました。

最近、子どもの前でいわゆる面談 DV による精神的 DV 児童の通告件数が増加しています。家庭という密室の中で起きている暴力…。未来を担う子どもたちの健全な心の育成は、私たち大人の責任です。



◎ 今年、会員になってくださった S さんも参加してくださいました。



街頭キャンペーンに参加して初めて、オレンジリボンが児童虐待防止のシンボルだということを知りました。配布物を受け取ってもらうのはなかなか大変でしたが、街を歩き交う人々を眺めていると、ドラマの断片を見ているようで楽しかったです。

《会員 S さん》

11月12日から25日は、女性に対する暴力防止週間です！

石川県パープルリボンキャンペーンに参加しました♡

11月12日(日)石川県 DV 防止パープルリボンキャンペーンに参加しました。

配布するティッシュ等を受け取るだけでなく、DV の問題に関心があり、足を止めて下さる方もいらっしゃいました。私には関係のないことと思わずに、少しでも気にかけて頂けると有りがたいです。

この日は、WEK プロジェクトとハートデザインの共催事業「コミュニケーションカードアドバイザー養成講座」といしかわ結婚子育て支援財団の「子育て支援メッセ」が重なり、賛助会員の T さんにも参加協力していただきました。ありがとうございました。



※石川県 HP より転用

STOP DV !



かなざわ DV サポート缶では、これまでオリジナルの啓発用のポケットティッシュを配布して児童虐待と女性の暴力を防止する街頭キャンペーンを毎年実施してきました。

昨年から石川県のパープルリボン街頭キャンペーンに WEK プロジェクトとして参加させていただき、今年はオレンジリボンキャンペーンにも参加させていただきましたので、独自の街頭キャンペーンは実施せず、野々市市のご協力で御経塚のイオンで暴力防止啓発のパネル展示をさせていただきました。

子育て支援メッセ いしかわ2017 に参加しました♡

11月12日(日)子育て支援メッセに参加しました。

当日はたくさんの方々にブースに遊びに来て頂き、ありがとうございました。また、いろいろなイベントで、みなさんと楽しい時間を過ごせたらと思います (*^_^*)



私たちは女性と子どもの支援を目的として活動しており、2015年から子育て支援メッセに参加させていただき、今年で3年目になります。家庭という密室の中で起こりうる児童虐待や DV の子どもへの影響の大きさについて、子育て世代に対して予防啓発していく必要があると思っています。全てのパパとママが子育ての楽しさを心から実感していただき、子どもが幸せに成長できる社会となることを私たちは願っています。



母子生活支援施設 MC ハイツ平和の職員の方に「びーらぶ」プログラムを体験していただきました！



母子生活支援施設入所者の半数以上がDV被害体験母子であることをお聞きし、私たちはぜひ入居者向けに「びーらぶプログラム」を提供させて欲しいとの思いをお伝えし、まず職員さんが入居者のみなさんにプログラム受講の助言ができるようにと、施設での職員の方の体験講座の実施要請をいただきました。とてもうれしいオファーでした。

12月12日(火)と20日(水)の2回、びーらぶ金沢チームが MC ハイツ平和を訪問し「びーらぶプログラム地域版(一般向け)」を紹介しました。



ピアサポートグループ風 第3木曜日 14:00~

※会場は非開示です

「サポートグループ風」では安全の場としてのルールが守られているので、人は「誰にも言えなかった」自分の思いを言葉にしようと思います。人の話を尊重し、「どのように感じ」「どのように考えたのか」というところを大切に傾聴すると、参加者は自分の生きてきた体験の中に同じような感情や体験があったことに気づき、言葉にします。そして一人ひとりの思いが相乗的に膨らんでいきます。「あなたの問題は私の問題」でもあった。「今も進行中であり、これからはあるだろう問題」に、揺さぶられ、女性だからこそ共感できる悔しさ、悲しみ、怒り、諦め等、多くの心の有り様が、「ジェンダーの視点」をもつことで、問題はどこにあって、どこからくるのか、社会的に共有されていきます。自分に刷り込まれてしまった意識が、溶解し、ストンと胸に落ちた時、認知が変わり、本来の自分へと解放されてゆく…。それが、参加者に起きてもスタッフに起きても、嬉しく感じるのは、そして、このような場を提供できていることの幸せを感じています。



《ファシリテーター 中村》

昨年5月からスタートした「こころのケア講座土曜日コース」は、10月28日で全12回のプログラムを一旦終了しました。そして、10月から「こころのケア講座木曜コース」がスタートしました。ファシリテーターとして講座でお話をさせて頂き、参加者の皆さんと関わることによって、私自身、大変勉強になっています。この講座には、夫からDVを受けた経験がある方だけでなく、親やきょうだいからの暴力被害の経験がある方、お仕事や日常生活の中で被害者と関わることもある方など、様々な方が参加なさっています。



暴力はなぜ起こるのか？暴力によってどのような影響が起こるのか？セルフケアの方法など、全12回の講座で様々なことを学び、自分に起きたことや、今の心と身体の状態を知り、傷ついた心をケアしていくということに繋がっていきます。継続的に参加なさっている方の表情が明るくなっていき、ご自分の近況を楽しそうにお話なさる姿見ていると、回復のために、まずは暴力などについて学んだり、情報を得るということの大切さを教えて頂いた気がします。



DVや暴力と聞くと、体に向けたものをイメージするかもしれませんが、日常生活では、家庭内だけでなく、職場や学校、交友関係などで、モラハラやパワハラなどの心への暴力を経験することがあると思います。そういう経験から傷ついたり、心がモヤモヤする方にも参加して頂けたらと思っています。

《インストラクター 新美》

第20回 全国シェルターシンポジウム 2017 in 東京に参加しました

9月30日(土)10月1日(日)、第20回全国シェルターシンポジウムに、2名が参加しました。

全国シェルターシンポジウムは、1998年に第1回大会が札幌で開催され「痛みを力に」という力強いメッセージを掲げ、当事者とともに歩む新しい市民運動を誕生させました。その後、全国シェルターシンポジウムはDVから性暴力、性虐待へと運動の視野を広げながら、社会において女性や子どもの人権が置き去りにされないように、社会に向け発信し続けてきました。そして第20回記念大会は「ノーモア暴力」をテーマに東京で開催されました。



米国弁護士オルガ・トゥルヒーヨさんの基調講演「当事者から見た暴力の影響とトラウマ」は、同じく当事者であるレズリエンスの中島幸子さんの絶妙な通訳によって、メッセージがストレートに伝わり、トラウマと解離について理解を深めることができました。オルガさんは暴力で破壊された家庭で育ち、幼児期に実父から性的虐待を受け、トラウマと解離性同一性障害とともに生きています。自分を理解し受け止め支えてくださる人との出会いがあったからこそ、今の彼女の素敵な笑顔が見られるんだ...と、胸がいっぱいになるとともに、当事者が受け止めてもらえたと感じる支援者でありたいという思いをさらに強くしました。《坂井》

会員募集中!

WEKプロジェクトの会員になって、女性の生き方を考えたり、サポートしたり...

一緒に活動してみませんか？

- ★ 正会員(活動会員)になると...
- ☺ 総会(年1回)への出席のほか、定例会(意見交換会や研修会)の参加など、会員相互のつながりを持つことができます。
- ☺ 講演会や講座などに優先的に参加でき、参加費の割引があります。
- ☺ 会員交流会などのイベントに参加できます。
- ☺ ニュースレター(年4回)や各種講座等の情報をお送りします。

★ 賛助会員も募集しています!

会員	年会費
正会員(活動会員) この法人の目的に賛同して入会した個人	3,000円
賛助会員 この法人の目的に賛同し賛助の意思を持つ個人および団体	個人: 1口3,000円 団体: 1口10,000円

入会希望の方は、お名前、ご住所、電話番号、メールアドレス及び会員種別をメール又はFAXで、お知らせ下さい。

所定の会費は、下記の口座に郵便局からお振込みください。

TEL/FAX 076-255-7582

E-mail wek7582@spice.ocn.ne.jp

郵便払い込み口座 00780-5 42126

耳より情報

☺ 国際女性デー(IWD)

3月8日は国連が決めた「国際女性デー」です。1904年3月8日にアメリカで女性労働者が婦人参政権を求めてデモを起こしたことがきっかけで、1910年にコペンハーゲンで行われた国際社会主義会議で「女性の政治的自由と平等のために戦う」日と提唱したことから、同年「国際女性デー」と制定されました。



☺ 日本のジェンダーギャップ指数、過去最低を更新 114位に

男女格差(ジェンダーギャップ)の大きさを国別に順位付けした「世界経済フォーラム」の報告書が11月2日付で公表され、日本は144カ国中114位と、前年より三つ順位を下げました。

☺ WEKプロジェクト法人化 2年度目にむけて

★ NPO法人設立1周年記念講演
昨年のお雛祭りの日、3月3日に法人登記をして、1年になります。4月には、中央講師をお招きして記念講演会を開催しますので、是非ご参加ください。

★ 被害者支援者養成講座
いよいよ本年4月(予定)から、WEKプロジェクト被害者サポーター養成講座が始まります。

日頃から被害者支援に関心をお持ちの方、WEKと一緒に活動したいとお考えの方は、是非受講していただきたいと思っています。

詳細が決まりましたら、ホームページやFacebookなどでお知らせします。

WEKプロジェクトからのお知らせ

■ マンスリーセミナー 13:30~ 会場：石川県女性センター5階会議室

- 2/3(土) 自己尊重ワーク 自分を好きになる~自分へのアフメーション
3/3(土) DVD鑑賞
~みんなでふえみトーク

■ こころのケア講座 木曜日 13:30~ 会場：石川県女性センター2階研修室

- 1/11(木) ⑥ 傷つきによる喪失とグリーフ
1/25(木) ⑦ 境界線
2/8(木) ⑧ コミュニケーション
2/22(木) ⑨ パートナーシップ
3/8(木) ⑩ 加害者
3/22(木) ⑪ 育った環境、子どもへの影響
4/12(木) ⑫ 自尊心

■ 母と子のおしゃべりサロン

毎月第3日曜日はWEKに来て、自分を大事にする日にしませんか？

午前はコミュニケーションや怒りとの向き合い方など、少人数で和気藹々の雰囲気の中で考えたり、話し合ったりします。

お昼は、お子さんと一緒に軽食を作っていただきまましょう！

午後は、お茶しながら「おしゃべりサロン」です。

都合の良い時間帯だけの参加や、ランチタイムだけでもOKです

気軽に遊びに来てください。

- ♥ 第3日曜日 午前 10:30~15:30
- ♥ 参加費 無料です
- ♥ ランチは親子で 500円
前日までに、お電話かメールでお知らせください。

■ 家庭や地域での暴力防止講座 & 親子でランチ 時間：10:30~ 会場：金沢市教育プラザ富樫

- 1/27(土) 怒りと暴力 飾り巻き寿司
2/25(日) いじめ 簡単ピザ等
3/25(日) いろんな気持ち パンケーキ

※P2に詳細を掲載してあります。

■ 面会交流支援サービス

離婚した父母が、面会交流の取り決めをしても、具体的にどのように進めていけばよいかわからない場合や、自分たちの力で面会交流できない時、また、相手と直接会うのが難しい場合など、連絡調整、子どもの受け渡しや付き添い等の支援を行います。

対象となるお子さんは、3歳から小学6年生までの石川県在住のお子さんです。

- ♥ 事前面談(無料)
- ♥ 受理面談(有料)
- ♥ 連絡調整サービス(有料)
- ♥ 受け渡しサービス(有料)
- ♥ 付き添いサービス(有料)

※ 詳しくは、WEK プロジェクト事務局にお問い合わせください。

■ サポートグループ風

生きづらさを感じる女性たちがおしゃべりしています。気軽に足を運んでください。

毎月第3木曜日 14時から

会場は非公開です。

お問い合わせください。

■ 女性のための相談室

- ♥ 無料電話相談
DV・虐待・離婚・子育て等のご相談を受けています。お気軽にお電話ください。
火・木・土曜日の13時から17時まで
TEL 076-255-7582

- ♥ 面接相談
DV、虐待、離婚、子育て等について、面談を実施しています。
事前に、お電話で面談日をご予約下さい。
※休日、夜間も対応します。

- ♥ カウンセリング(有料)
事前に、お電話でご予約下さい。

■ お問い合わせ先

詳しくは、WEK プロジェクト事務局までお問い合わせください。

TEL/FAX 076-255-7582

E-mail wek7582@spice.ocn.jp